

## 議題 くるりんばすの料金体系の改定について

日進市内巡回バスの料金改定の基本的な考え方

平成 28 年 9 月  
日 進 市

## 1 経緯

日進市内巡回バス「くるりんばす」は、平成 8 年 4 月から「公共施設巡回バス」として、公共施設への利便を高めるべく週 2 日の試験運行を開始、平成 11 年度に愛称を「くるりんばす」とし、平成 13 年から本格運行を開始した。平成 11 年当初は無料であったが、平成 13 年から段階的に有料化を進め、平成 17 年 4 月から 65 歳以上有料化、平成 21 年 4 月より中央線の運行開始に伴い、現状の料金体系となっている。

平成 27 年 4 月に策定した日進市地域公共交通網形成計画では、持続可能な公共交通体系の構築を基本方針の一つとして定めており、市の財政状況に鑑み、これを実現に移すため現在策定中の再編実施計画の中において、平成 29 年 4 月から料金体系を改定する。

## 2 改定に向けた考え方

## (1) 受益者負担率の適正化

利用者の受益者負担率は、平成 28 年度見込みで 15.42% (収入は平成 26 年度実績。中央線を除く。)

日進市行政改革大綱 (平成 16 年度策定) に基づく「公共料金の基本的な考え方」における受益者負担率の分類において、くるりんばすは、非市場的サービスかつ必需的サービスであることから、分類 I である 25% とされた。また、平成 28 年度 4 月には、同考え方が改定される。

これを受け、第 2 次日進市経営改革プランにおいても、くるりんばすの受益者負担率の目標値を 25% としている。

※ 現状：100 円 (15.424%) → 目標：186 円 (25%)

$(160,641,822 * 0.25) / \{ (414,431 - 51,754) * 0.594 \} = 186.41$

H28 7 コース運行経費                      7 コース利用者 乗継券利用者                      有料化率

## (2) 運行経費の増加

くるりんばすの運行経費は毎年増加をしており、平成 26 年度 1 億 7,543 万円、平成 27 年度 1 億 8,261 万円、平成 28 年度 1 億 8,342 万円の見込となっている。一方、近年市予算における民生費の割合が著しく増大していることから、運行にかかる予算の拡大は困難である。

## (3) 車両の更新

くるりんばすの車両は平成 17 年度から順次導入されたもので、多いものでは 79 万 km (H28.1 月末現在) 走行している状況である。今後、これらの車両について、安全性の確保や修理費用の抑制のために順次更新を行うが、車両 1 台あたり約 2 千万円の経費が必要となる。

## (4) 民間バス路線料金

名鉄バスの料金は、対距離料金 (170 円～)、また、くるりんばすと一部重複路線が存在する名古屋市交通局の市バス料金 (一律 210 円) となっている。

## (5) 効率性

定期外収入のうち IC カードの構成比率は 50% 台であり、依然として現金での支払の割合が高いことから、ワンマンバスとしての運行上、100 円単位が効率的である。

## (6) 健康づくり・介護予防の推進

部局連携による事業効率化の観点から、「健やか にっしん宣言」の理念の実現に向け、高齢者等の外出機会を支援し、健康づくり・介護予防を推進すること等を目的とした優遇措置を行う。

## (7) 料金改定に伴う対応

高頻度の利用者等について、料金改定により急激な負担増が発生しないよう、必要な措置を講ずる。また、通院費の負担が大きい通院者等、医療受給者証の交付を受けているものについて新たに無料対象とする。

## 3 改定後の料金体系 (案)

- (1) 一般 一乗車 200 円 (ただし、循環線は、100 円)  
 (2) 児童生徒 一乗車 半額 → 子育て支援・福祉的対応により、引き続き無料  
 (3) 定期券

区分	1 か月	3 か月 <sup>※1</sup>	割引率	6 か月 <sup>※1</sup>	割引率
一般 (64 歳以下、市外 65 歳以上)	6,000 円	17,000 円	5%	32,500 円	10%
学生 (高校・大学・専門学校等) <sup>※2</sup>	4,000 円	11,000 円	8%	20,000 円	16%
高齢者 (市内在住の 65 歳以上) <sup>※3</sup>	1,200 円	3,000 円	16%	5,000 円	30%

<sup>※1</sup> 3 か月・6 か月定期は、にぎわい交流館限定で販売 (今後、販売場所の拡大を検討)

<sup>※2</sup> 学生定期券は、購入時点で有効な学生証又は通学証明書、入学証明書 (新入学の場合) の提示が必要 (市外在住も購入可)

<sup>※3</sup> 高齢者定期券は、住所及び年齢確認の出来る身分証明書の提示が必要

- (4) 回数券 100 円券 12 枚綴り 1,000 円 (一枚あたり 83.3 円 常時発行)  
 記念回数券 100 円券 6 枚綴り 500 円 (一枚当たり 83.3 円 数量・期間限定 随時発行)

## (5) 無料対象 次の市内在住の方

- ア 中学生以下のこども  
 イ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付き添いの方 1 名  
 ウ 介護保険法による介護認定を受けている方 (要支援及び要支援相当含む) と付き添いの方 1 名  
 エ 日進市運転免許自主返納支援事業実施要綱第 4 条の対象となる方  
 オ その他特に市長が認めた者。

\* 「要支援相当」とは、基本チェックリストの該当者を指す。

## (6) 新規無料対象者

(5) ア～ウに該当しない方で、下記の必要な証明書を所持する者を無料対象者に加える。

区分	必要な証明書等	対象
ひとり親家庭	ひとり親家庭等医療費受給者証	本人
その他障害者等	障害者医療費受給者証、又は、後期高齢者福祉医療費受給者証	本人及び付添いの方 1 名
精神通院医療	自立支援医療費 (精神通院医療) 受給者証	本人及び付添いの方 1 名

なお、(5) イ、ウ及び新規の無料対象者には、外出を促し健康づくりに寄与する内容を記載した無料バスカードを交付し、利用促進を図るとともに、健康づくりへの自覚を促す。

## (7) 乗継券

廃止する。(全便市役所同時帰発着ではなくなり、運用が困難となるため)

代替施策：全年齢定期券の導入により、一定頻度以上の利用者は乗継券が不要となる。

→当初は、全ての路線が市役所バス停に乗り入れない事を前提に、乗継利用が難しくなるとしていたが、路線案の見直しの結果、全ての路線が乗り入れることとなった。

このことを踏まえ、一定頻度以下の利用者であっても、乗継券が廃止されることで乗継利用時の負担増が著しいことから、市役所バス停での乗継に限って乗継券を交付することとする。(従来どおりとする)

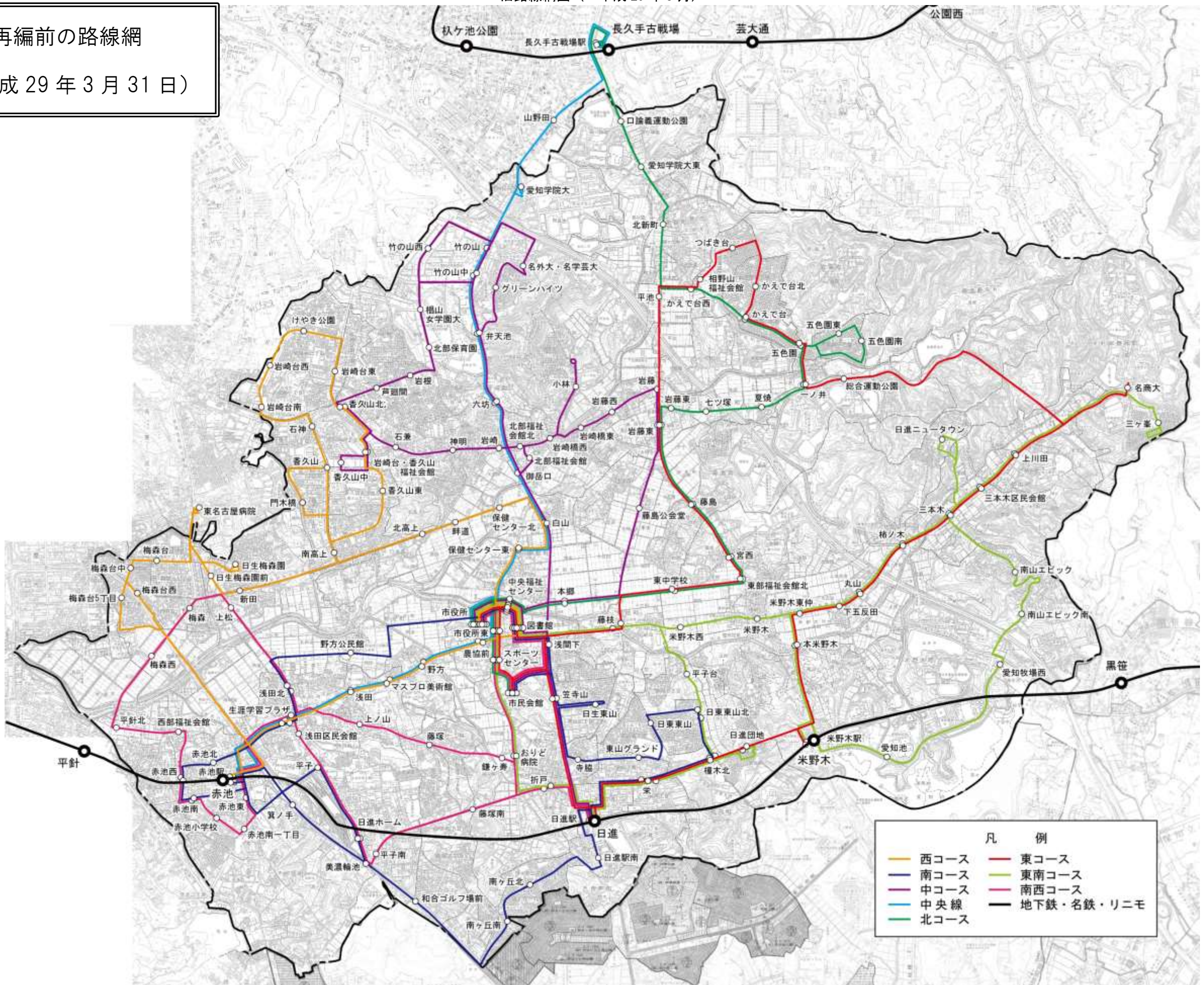
## 4 料金改定までの流れ

- (1) 市における再編実施計画の検討 (運行事業者の決定)  
 (2) 地域公共交通会議における協議料金の承認 (28 年 3～4 月)  
 (3) 市における再編実施計画の策定 (28 年 4～9 月)



旧路線網図（～平成 29 年 3 月）

再編前の路線網  
（～平成 29 年 3 月 31 日）



凡 例	
西コース	東コース
南コース	東南コース
中コース	南西コース
中央線	地下鉄・名鉄・リニモ
北コース	



新路線網図（平成 29 年 4 月～）

再編後の路線網  
平成 29 年 4 月 1 日～

【日進中央線】  
 ・ 民営化による運行時間帯の拡大  
 ・ 赤池駅と長久手古戦場駅を經由  
 ・ 岩崎台地区を新たに經由  
 ・ 1 時間に 1 本運行  
 ・ 距離制運賃の導入

平成 28 年 12 月～  
 <イオンモール長久手>  
 ・ 長久手古戦場駅前に大型商業施設（イオンモール長久手）が開業予定

【五色園線】  
 ・ 市役所、五色園地区、長久手古戦場駅を經由  
 ・ 市役所にて、循環線、三本木線、梅森線、岩崎線と乗継可能

【梅森線】  
 ・ 市役所、香久山地区、赤池駅を經由  
 ・ 市役所にて、循環線、三本木線、五色園線、岩崎線と乗継可能

【岩崎線】  
 ・ 市役所と竹の山地区を經由  
 ・ 市役所にて、循環線、三本木線、梅森線、五色園線と乗継可能

【三本木線】  
 ・ 市役所、三本木地区、米野木駅を經由  
 ・ 市役所にて、循環線、梅森線、五色園線、岩崎線と乗継可能

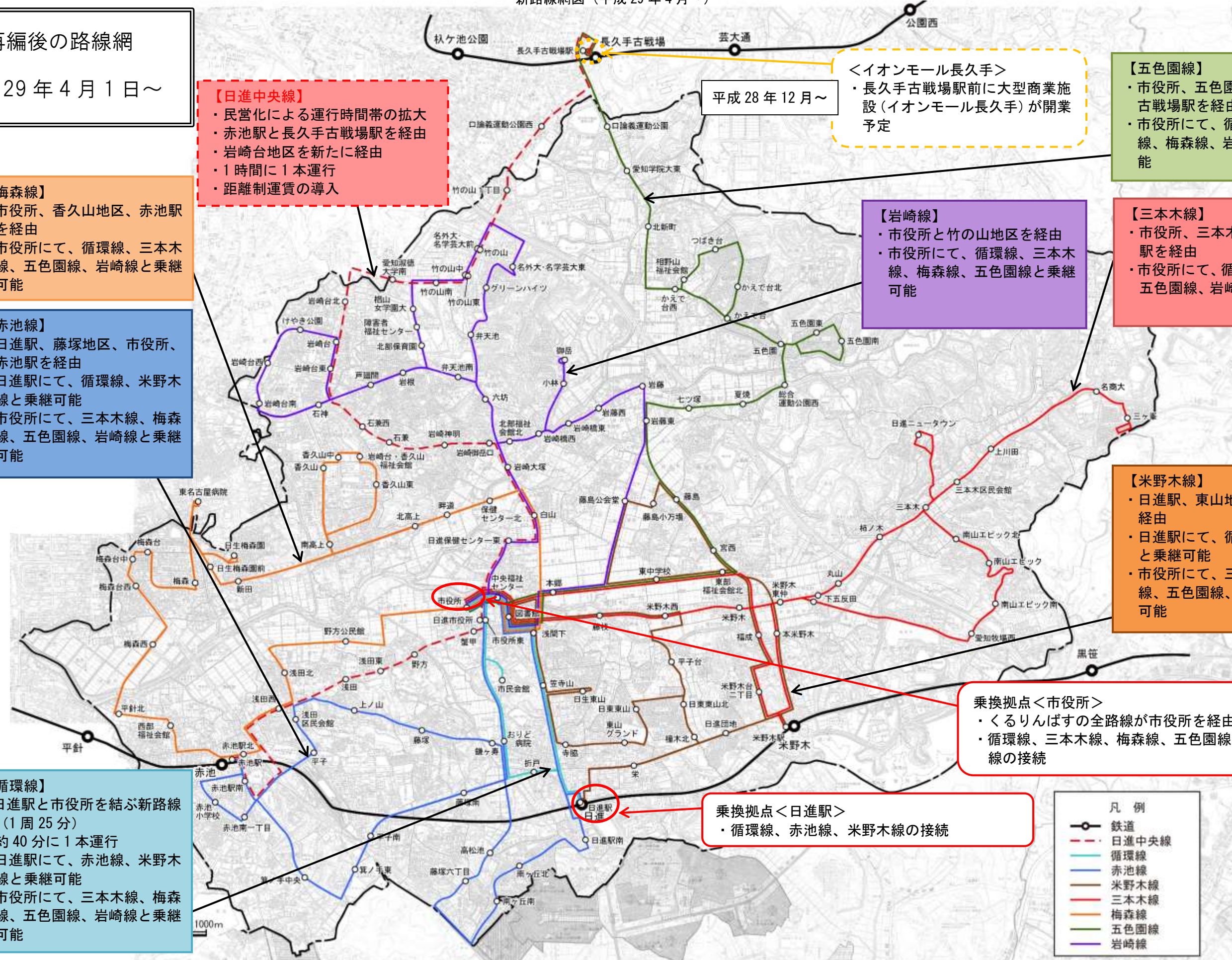
【赤池線】  
 ・ 日進駅、藤塚地区、市役所、赤池駅を經由  
 ・ 日進駅にて、循環線、米野木線と乗継可能  
 ・ 市役所にて、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線と乗継可能

【米野木線】  
 ・ 日進駅、東山地区、市役所を經由  
 ・ 日進駅にて、循環線、赤池線と乗継可能  
 ・ 市役所にて、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線と乗継可能

乗換拠点<市役所>  
 ・ くるりんばすの全路線が市役所を經由  
 ・ 循環線、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線の接続

乗換拠点<日進駅>  
 ・ 循環線、赤池線、米野木線の接続

【循環線】  
 ・ 日進駅と市役所を結ぶ新路線（1 周 25 分）  
 ・ 約 40 分に 1 本運行  
 ・ 日進駅にて、赤池線、米野木線と乗継可能  
 ・ 市役所にて、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線と乗継可能



凡例

	鉄道
	日進中央線
	循環線
	赤池線
	米野木線
	三本木線
	梅森線
	五色園線
	岩崎線